

地域密着サービス 運営推進会議 報告書

施設名 : 直江の家

施設種類 : グループホーム ・ 小規模多機能居宅介護施設

日時 : 令和8年3月25日(水) 13:30~14:50

会場 : 有料老人ホーム「直江ホーム」ホール

出席者 :

利用者代表	0人	出雲市職員	1人
利用者家族	0人	あんしん支援センター職員	1人
地区民生委員	1人	コミセンセンター長	1人
地域代表	1人	施設職員	3人
広域協力員	0人	アドバイザー	1人

《 議 題 》

1. 1月・2月の行事

- 1/1 お茶会 利用者様に薄茶をたていただき干支の饅頭でお茶会開催
- 1/4 絵馬作り 利用者様と一緒にお正月の絵馬を作りました。
- 2/3 節分 鬼に扮した職員めがけて新聞紙を丸めて作った大きな豆を投げて鬼退治しました。

【直江の家だより参照】

2. 職員スキルアップ研修

- 1/29 ZOOMでの研修
高齢者虐待防止法について
- ・ 島根県における養介護施設従事者等による高齢者虐待対応の実態
 - ・ 介護事業所における高齢者虐待防止措置の義務化
 - ・ 虐待防止、身体拘束適正化
 - ・ 古河町社会福祉協議会の虐待防止、権利擁護の取り組み
- 2/26 ZOOMでの研修
介護現場のカスハラ対策研修
- ・ 今日からできるカスハラを起こさせない職場づくり

《ヒヤリハット、事故報告》

1/16 要介護3 男性 77 歳

深夜 3 時にセンサーマットが鳴り訪室するとサイドレールを自身で開けて布団に絡まった状態で滑り落ちていた。本人は「滑った、立てない」と発言。外傷、痛みの訴えなく様子見。

3. 利用状況

新規登録	1 月	1 名	2 月	0 名
登録終了	1 月	1 名	2 月	1 名

介護度別男女比

	1 月			2 月		
	男	女	計	男	女	計
要支援 2	0	1	1	0	1	1
要介護 1	1	0	1	1	0	1
要介護 2	2	4	6	2	3	5
要介護 3	2	6	8	2	6	8
要介護 4	2	3	5	2	3	5
要介護 5	0	1	1	0	1	1
申請中	0	0	0	0	0	0
合計	7	15	22	7	14	21
平均	2.71	2.87	2.82	2.71	2.93	2.86

地域別利用状況

	男性	女性	合計
斐川地区	6	9	15
旧出雲市	1	3	4
平田地区	0	2	2
上記以外の 出雲地区	0	0	0
合計	7	14	22

平均年齢

男性 86.00 歳

女性 89.78 歳

男女 88.52 歳

サービス利用状況

サービス内容	月	延べ人数	1人平均利用回数
通 い	1月	221	11.1
	2月	223	10.6
訪 問	1月	2271	113.6
	2月	2115	100.7
泊 り	1月	50	2.5
	2月	61	2.9

5. その他意見交換

社長挨拶：暖かくなってきて桜の花が今日か明日かにも咲きそうな勢いです。

利用者様は毎年楽しみにされているので見頃になってきたら例年通り桜の花や菜の花を見に行きたいと思っております。

今年度、最後の運営推進会議になりますのでよろしくお願いいたします。

(質疑応答)

直江の家→市役所

新聞の記事に居宅介護支援事業所に新たに採用した介護支援専門員に一人 20 万円支給と載っていたがなぜ居宅介護支援事業所だけに支給されるのか？

→居宅介護支援事業所だけではなく介護支援専門員を配置必須の事業所は全て対象になる。

アドバイザー→直江の家

1月の地震の時にガス給湯器は止まらなかったのか？

→特に給湯器が止まることなく、利用者も全員無事で被害はなかった。

市役所→直江の家

小規模のみを利用されている方はどのくらいいるのか？

→資料の中の黄色く網掛けしてある方3名が小規模のみご利用で自宅から通いと泊りを利用されている。残り18名は有料老人ホームに入所されている。

直江の家→市役所

運営推進会議にご家族の出席者がなかなか見つからない。

→ほかの事業所も苦労されているところが多く色んな工夫をされている。例えば開催を週末にしてみたり、日頃の様子をスライドで伝えたり、家族会を開催したり…等々

6. 「令和 6 年度サービス評価」総括表より

地域代表→直江の家

「C. 事業所と地域のかかわり」の中で、「町内会に入っているので顔を出す機会を設けていただく」とあるがこういったニーズがあることを知らなかった。

→小規模多機能は地域密着型であるので地域と交流して地域に根付く事業所を目指していかなければならず、そのためには第 1 歩として町内会に顔を出させてもらって、直江の家の存在やこういった事業所であるのか知ってもらうことが有効ではないかと思っている。

コミセンセンター長→直江の家

地域に直江の家を知ってもらう方法の一つとして、これまで作品展に利用者の作品の出展をされていたが、職員さんが直江の家の PR を兼ねた作品を出展するという方法はどうか？

→そういったことが得意な職員もいるのでぜひやらせてもらいたい。